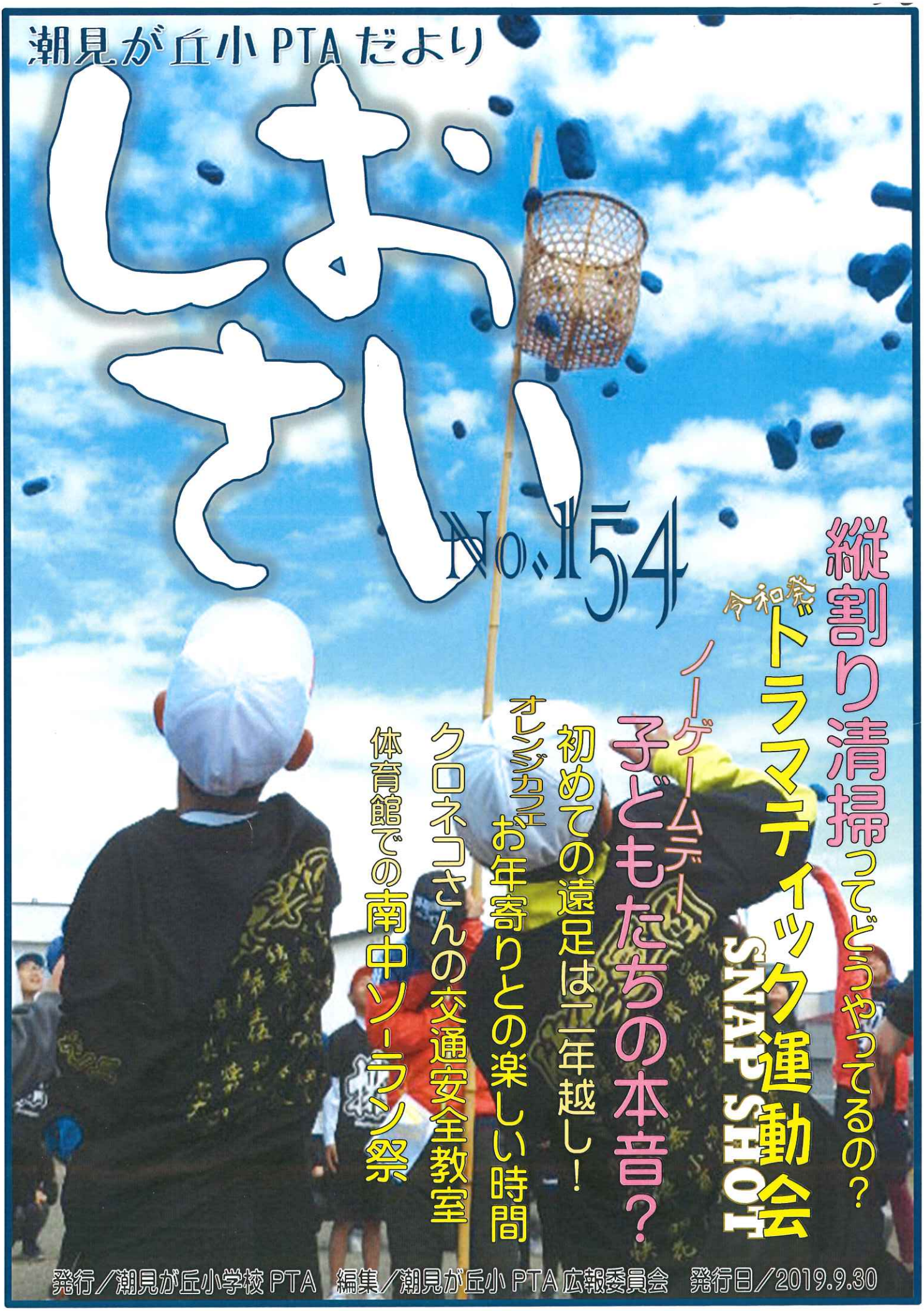
潮見が丘小PTAだより

しおさい

No.154



縦割り清掃ってどうやってるの？

令和発 トラマティック運動会

SNAP SHOT

ノーゲームデー 子どもたちの本音？

初めての遠足は一年越し！

オレンジカフェ お年寄りとの楽しい時間

クロネコさんの交通安全教室

体育館での南中ソーラン祭

発行／潮見が丘小学校PTA　編集／潮見が丘小PTA広報委員会　発行日／2019.9.30

二年生図書館遠足へ密着

初めての遠足は二年越し

23万冊は凄かった！

今年も広報委員会に入ったF委員とN委員。昨年は新入生初めての遠足をルポしようと、仕事も休み準備していましたが、あいにくの悪天候中止。それでも、延期日に備えていたものの、またもや悪天候。今年こそはと、再び広報委員会へ戻ってきました。

七月四日。快晴！最高の遠足日和になりました。念願だった二年生の遠足に密着するため、学校から図書館まで約三kmの道のりを歩いてきました。

職員の方から図書館には二十三万冊の本があることを聴きました。「大きな数」を算数で学習している二年生には衝撃の数だったようです。

見学後は図書館前の広場で遊びました。予想を超える好天で水筒も空っぽになり、帰りには東地区拠点センターで水を汲ませてもらいました。

この日は北門神社祭の宵宮。さぞ、お疲れのはずが、元気にお祭りに出かけた子もたくさんいたようです。なんて体力なんでしょう（笑）。

「閉架書庫」も見せてもらいました。ドキドキしながら中に入ると、そこには明治・大正時代の新聞が保管されていることにも再びビックリです。

自由見学の時間にはタッチパネル式の検索機を試したり、大型絵本をゆっくり楽しむ子どもたちがいました。「静かに」「走らない」「本を大切に」の約束をしっかり守りながら、図書館見学を楽しみました。

オレンジカフェ お年寄りとの楽しい時間

6月19日の風～る（生涯学習支援センター）に、子どもたちとお年寄りの楽しそうな声が聴こえてきます。

潮小のボランティアクラブの子どもたちが、認知症を地域で支えるために開設している「オレンジカフェ」に参加しているのです。

子どもたちは、お年寄りと折り紙や塗り絵・オセロ等をして遊んだり、肩たたきをしてあげたりしながら、楽しい時間を過ごしていました。

子どもたちにネイルをしてもらっていたお年寄りは「見て～いいしょ（笑）！」と、お友だちに見せてあげていました。

楽しい会話が飛び交い、たくさんの笑顔の花がさいた、とてもステキなカフェでした。

店員の子どもたちの声

〔ネイル担当〕

「楽しかった～。歳の話をしながらネイルをしました！」

〔ぬり絵担当〕

「楽しくやってま～す。隣りではオセロをしているけど、おじさん、凄く強いよ！ぬり絵してくれているおじいちゃん、とっても上手！」

お客さんの声

〔マッサージを受けているお客さん〕

「最高！バッチリ、バッチリ！」

〔ネイルをしてもらっているお客さん〕

「生まれて初めて！ 家の人にびっくりされちゃうよ！今日は料理作らな～い（笑）」

ノーゲームデー

「毎月第一日曜はノーゲームデー」

PTAから提起され始まったこの取り組みが二年目を迎えています。子どもたちはノーゲームデーをどのように捉えているのでしょう。ある学年にアンケートをとり、子どもたちの本音をさぐってみました。

子どもたちのアンケートに立つの「子どもの生きがいを奪っている」等々、約二五%の子どもたちがノーゲームデーに否定的な思いをもっていることもわかりました。

「ゲーム・スマホ」と学力の関係で、「ゲームを全くしない子どもたち」よりも、「時間を決めてゲーム・スマホをしている子どもたち」の方が、学力が高いとの調査結果が出ています。自分をコントロールしながら生活できることが大切なようです。

今年度、WHO（世界保健機関）では、ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定しました。

アルコール依存やニコチン依存、ギャンブル依存と同じような病気だということです。自分の力だけではどうにもならない、医療の力をかりなければ治すことのできないのが「ゲーム障害」なのです。

ノーゲームデーの日は何をして過ごしていますか？

1位 テレビ＆ゲーム＆ユーチューブ
2位 野球・勉強
3位 寝る

えっ!?何のゲーム?

他には:いろいろな遊びを探しています/絵を描く/外遊び

あなたはノーゲームデーをどう思いますか？

1位 「良い取り組み」だと思う
2位 「いらない」と思う
3位 ストレスがたまる

他には:家族といる時間が増えていい/1日だけなら我慢できる

あたはが望む「〇〇デー」はなんですか？

1位「ゲーム」デー
2位「スポーツ」デー
3位「友だちと遊ぼう」デー

他には:昼寝デー/パリピデー/勉強をがんばろうデー

ノーゲームで家族と過ごす時間を…

子どもたちへアンケートをとってみて、潮小の子どもたちの中にも、ゲームへの依存を強く感じられる回答が多くありました。自分をコントロールしていく力を育ててあげなければ、「ゲーム障害」になる子がいても不思議ではありません。

ノーゲームデーを利用して、家族と過ごす時間を増やし、子どもたちをゲーム障害から守ってあげられる潮小になればと思います。

ぜひ、月一回のノーゲームデーを家族で意識してみてください。（広報委員）

ゲーム障害の兆候

（2019年2月放送NHK「きょうの健康」より）

- □使用時間がかなり長くなった
- □夜中まで続ける
- □朝起きられない
- □絶えず気にする
- □他のことに興味を示さない
- □注意すると激しく怒る
- □使用時間や内容について嘘をつく
- □課金が多い

子どもたちの本音？ 7

編集後記

■令和最初の「しおさい」です■時代のとともに変化していく学校■ヤマト運輸の交通安全教室・オレンジカフェ■地域のみなさんに来てもらい■地域へ出かけての勉強■五年生は子どもだけでの職場体験（二学期号に掲載予定）■学びの場がどんどん広がっているようです■令和の「しおさい」も変化していくのでしょうか■「マンネリ」にならないようにがんばります■一五四号、楽しんでいただけたらうれしいです